

### 第三章 19) フロレスタ耕地 (バタタイス駅)

\*前田兼作、1913年長崎県南高来郡、14歳で渡伯。配耕後日雇い労働者となり、同耕地に7年の辛抱、コツコツと財蓄。(「ブラジル同胞活躍の姿」118ページ)

\*渡辺貞雄、1913年、若狭丸、福岡県三井郡出身、1農年就労後、ミナス州コンキスタ植民地にて米作、後年ゴイアニア市に移転牧畜等経営。(「ブラジル日系紳士録」883ページ)

\*黒沢卓爾来、1920年5月、土佐丸、宮城県遠田郡不動堂村出身、バタタイス市郊外に配耕就労4年後、アシス市移転、プ・ブルデンテ市移転。(「ブラジル日系紳士録」644ページ)

\*渡辺惣十郎、1920年5月、土佐丸、宮城県伊具郡東根村出身、バタタイス市郊外に配耕農事に14年、転々と移転しポツポランガに落ち着く。(「ブラジル日系紳士録」696ページ)

\*坂本熊太郎、1926年12月、神奈川丸、熊本県玉名郡山北村出身、同駅モンテ・セラード耕地に就労すること2ヶ年後、ドラデン線に移転。さらにパラナ州トレスバラス移住地パルミッタル区に落着く。(「トレスバラス移住地開拓20周年史」568ページ)



フロレスタ耕地 バタタイス駅

### 20) フロレスタ耕地 (サン・ジョアキン駅)

モジアナ線リベイロン・プレート駅～イツベラバ方面 (ジャルジノポリス、ポランガ、グラブラ、オルランジャ、ジュサラ、サン・ジョアキン、ピオネイロ、グアラ、イツベラバ)

\*市村之(すすむ)、1919年7月、土佐丸、新潟県中蒲原郡横越村出身、サン・ジョアキンにて就労、1939年ウライ共和植民地でコーヒー栽培、ラミー栽培、シブラ・ラミー会社輸出会社設立。

(「ブラジル日系紳士録」 773 ページ)

\*松原太六、1927年4月、モンテビデオ丸、熊本県天草郡松島町字今泉出身、同駅ボア・ビスタ耕地に就労すること1ヶ年半後、ノロエステ線グアランタン駅タクアラ植民地で働く、当時コーヒーの不況で政府は価格維持のため過剰コーヒーをトラックに10～20台も郊外で山のように積んで焼いている光景を幾度も見受けた時代であった。後年聖市に移転する。(「熊本県人発展史」 301 ページ)

\*岩村満行、1930年、ラプラタ丸、熊本県下益城郡小川町北部田出身、同駅フォルタレーザ耕地に就労しコーヒーの収穫が初仕事であった。パウリスタ線に移転しながらパラナ州に永住地を求めた。(「熊本県人発展史」 728 ページ)

\*佐藤留作、1930年6月、ブエノス・アイレス丸、福島県福島市瀬ノ上出身、サン・ジョアキン入耕3農年就労、1933年アサイ市に移転市内で商店開業。(「ブラジル日系紳士録」 782 ページ)

\*竹橋留、1932年7月、ラプラタ丸、石川県鳳至郡穴水町出身、同駅サンタ・セシリア耕地に就労すること2ヶ年後、ポンタール耕地に移り綿作2ヶ年、後年パラナ州トレスバラス移住地カビウーナ区に入植する。(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 438 ページ)

\*篠田半蔵、1932年11月、リオ・デ・ジャネイロ丸、埼玉県北足立郡川口市出身、ペローバ耕地で義務農年終了後、ソロカバナ線地方で綿作営農10ヶ年、後年トレスバラス移住地ジャンガーダ区に入植。(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 659 ページ)

\*大石利實、1933年1月、アフリカ丸。(「平野 25 周年史」)

\*佐々木栄治、1933年1月、アフリカ丸、宮城県柴田郡川崎村出身、同駅サンタ・エレナ耕地に就労、義務農年終了後ブロドスキー駅モーロ・アウト耕地でさらに1年働き、移転しながらパラナ州トレスバラス移住地に到着く。(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」)

\*丹野鶴雄、1933年2月、ブエノス・アイレス丸、宮城県柴田郡川崎町出身、サン・ジョアキンに入耕就労、1941年パラナ州アサイに移転雑貨店を開業(「ブラジル日系」 777 ページ)

\*丹野熊五郎、1933年2月、ブエノシ・アイレス丸、宮城県柴田郡川崎町出身、同駅ペローバ耕地に義務農年就労。翌年は隣のカンボ・アレグレ耕地で3ヶ年働き後、パラナ州トレスバラス移住地セポロン区に入植。(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 314 ページ)

\*紺野弘、1933年渡伯、福島県相馬郡中村町出身、同駅ペローバ耕地義務農年中弟実、その妻胡蝶、また次女道子がアメーバ赤痢で1週間間に続けて3人が死亡した。この非常時で裸一貫無一文になってしまった。リベイロン・プレート市に出て嶋崎旅館主の好意で同所に滞在、仕事をさがしブラ拓の土地販売人となり、トレスバラス移住地に移転、転職を繰り返しながら雑貨店を開店する。アサイ市内在住する。(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 804 ページ)

\*愛沢芳信、1935年3月、アリゾナ丸、福島県相馬郡飯曾村出身、同駅ペローバ耕地に就労すること2ヶ年後、

パラナ州トレスバラス移住地カビウーナ区に入植する。（「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 474 ページ）

\*田島秀喜、1928 年 6 月、神奈川丸、熊本県下益城郡松橋町出身、同駅付近に就労後、理想地を求めて各地を移転した。（「熊本県人発展史」 690 ページ）

\*谷山竹治、1937 年 11 月、リオ・デ・ジャネイロ丸、和歌山県日高郡寒川村出身、同駅フォルタレーザ耕地。1926 年頃から邦人が就労した耕地で邦人とは親しみ深い耕地である。義務農年終了後パラナ州トレスバラス移住地パルミタル区の学校基本地のコーヒー請負 6 ヶ年を契約し、この地に定着する。（「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 524 ページ）



フロレスタ耕地 サン・ジョアキン駅